

五郷	Ⅰ	200	3	85	13	3211	3310	+ 99
木之本	Ⅰ	4	3	90	0	3012	3150	+138
入鹿	Ⅰ	60	3	100	13	3376	3280	- 96
笠取山	Ⅲ	845	0	20	58	2226	2260	+ 34
朝熊山	Ⅲ	476	0	6	21	3106	3550	+448
大杉谷	Ⅲ	218	5	55	16	3554	3530	- 24
大台原山	Ⅲ	1557	1	67	23	4836	4830	- 6

第 2 表

	三重県	関東北部
相関係数	0.95	0.88
誤差	0.9%	7.3%

最後に平素御指導を頂く徳永技術課長に厚く御礼申し上げます。

参 考 文 献

- 1) 川畑幸夫, 1945 : 地形の影響を考慮した平均等雨量線の引き方, 電力気象連絡会彙報, Ⅰ, 3, 77~81.
- 2) 中央気象台統計課, 1954 : 各地の降水量を地理的因子のみからグラフで推定する方法, 電力気象連絡会彙報, Ⅰ, 3, 141~153.
- 3) 日下部文雄, 1953 : 水理気象, 農業と気象, 4, 16~17.

§ 5 結 語

三重県南部山岳の雨量, 殊に大台原山では年間雨量が5000mm近くもあり, 本邦でも最も雨の多い所として知られている. 今後改良の余地は多いが, 観測所の少いこれら山岳部の各所の雨量について, いくらかの手がかりは得られたものと云いよう.

九 州 支 部 例 会

日本気象学会九州支部の昭和31年度例会は西部管区気象研究会と合同で, 10月19日9時より18時まで, 鹿児島地方気象台会議室において開催された. 参会者は約70名で, 東京よりは畠山理事長が参加し盛会であった.

研究発表は次のとおりである.

- | | | |
|----------------------|----------|------------|
| 1. 蔵原の季節風について | 佐賀測候所 | 稲垣 豊 秋 |
| 2. 名瀬の上層風 | 名瀬測候所 | 森 茂 喜 |
| | | ◎野 真 本 一 |
| 3. 鹿児島島の梅雨 | 鹿児島地方気象台 | 上 城 本 一 |
| 4. 諫早湾週辺の水気象 (第3報) | 長崎海洋気象台 | 坂 本 琢 鷹 |
| 5. 福岡における水の収支 | 福岡管区気象台 | 日 下 部 正 雄 |
| 6. ロビッチ日射計の係数 | 福岡管区気象台 | 小 島 隆 義 |
| 7. 年平均風速と風速別度数分布 | 福岡管区気象台 | 前 久 塚 清 隆 |
| 8. 電力気象からみた塩害 | 下関測候所 | ○美 松 江 智 史 |
| 9. 宮崎における人工降雨実験 (概報) | 九州大学農学部 | 武 田 京 一 |
| | | ◎坂 上 村 理 祐 |
| 10. 桜島の火山性微動 | 鹿児島地方気象台 | 中 吉 村 寿 一 |
| 11. 火山活動と地中温度 | 福岡管区気象台 | 吉 今 里 能 男 |
| 12. 桜島火山爆發の諸誘因 | 鹿児島地方気象台 | ◎野 浦 川 武 雄 |
| 13. 週期外挿による1ヵ月予報 | 福岡管区気象台 | 山 田 三 朗 |
| 14. 九州の流域別雨量予報 | 福岡管区気象台 | 瓜 生 健 二 |
| 15. 霧島の雨と大淀川の流量 | 宮崎測候所 | 荒 木 一 好 |

なお次の二つの特別講演が行われたが, 畠山理事長の講演内容は「天気」3.10に掲載された.

- | | | |
|------------------|----------|---------|
| 1. 人工降雨国際会議について | 気象研究所 | 畠 山 久 尙 |
| 2. 桜島火山活動状況の総合報告 | 鹿児島地方気象台 | 今 里 能 |

散会后市内鶴鳴荘において懇親会が開かれ翌20日有志会員は鹿児島地方気象台観測課長安井豊氏の案内で噴煙を吐いている桜島にエクスカッションを行った.